

# 「新・やまがた農業人」紹介



藤野 宏平 さん 飯豊町で就農

【出身地】埼玉県

【就農前の職業】会社員

【就農年度】平成16年度(平成15年度、1年間研修後独立)

【経営概要】ミニトマト 800坪(25a) 里芋 25a

## 山形県での就農の動機や考え方

就農前は旅行会社に勤務し、ヒマラヤなどのトレッキングのガイドをしていた。対人関係などでストレスがたまり、身体を動かし、自然を相手にする農業へ転職をした、農業への転職は、必ず家族の同意が必要である。

私は、就農時に就農施設等整備資金を借り受け、ハウスを2棟建て、ミニトマトを栽培した。研修で学んだ作物であることと、収穫は大変だが大玉トマトに比較し、作りやすくてそこそこの価格が取れるからだ。就農当初は、なるべく単収の高い作物を作るべきだと思う。少ない面積で収入を上げていくためには、長期間収穫できる作物を選んだ方がよいと思う。

また、就農後数年間は付加価値等を求めず、生活基盤の安定を心がけるべきと考える。一方、どこかで失敗してもリカバリーできる範囲で新たなものへ挑戦してみる事も大切と考える。新たに人とのつながりを持つことができるからだ。価値観はそれぞれ違うと思うが、私は、一番大事なものは「人」と考えている。積極的に地域や関係機関に馴染んでいくこと、新規就農者仲間とのネットワークづくりも大事である。私も、これまで、多くの仲間や地域の方々に助けられてきた。

新たな挑戦として露地でイタリア野菜の栽培を考えている。